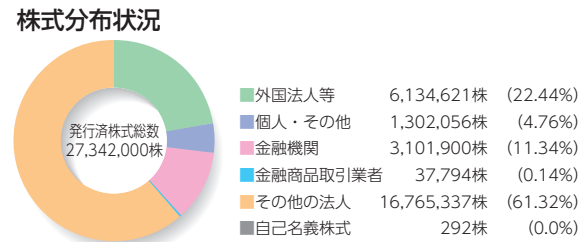


会社概要			
会 社 名 立	設 業 の 内 容	社 本 資 本 金	沖縄セルラー電話株式会社 1991年6月1日 電気通信事業 沖縄県那覇市松山1丁目2番1号 1,414,581千円

役員			
代表取締役社長	湯 浅 英 雄		
代表取締役専務	仲 地 正 和		
常 務 取 締 役	山 森 誠 司		
取 締 役	友 利 克 輝		
取 締 役(社外)	小 禄 邦 男		
取 締 役(社外)	石 嶺 伝 一 郎		
取 締 役	田 中 孝 司		
取 締 役	石 川 雄 三		
常 勤 監 査 役(社外)	長 尾 毅		
監 査 役(社外)	安 里 昌 利		
監 査 役(社外)	嘉 手 苺 義 男		
監 査 役(社外)	金 城 棟 啓		

株式状況			
大株主			
	株主名	持株数(株)	持株比率(%)
K	D D I 株 式 会 社	14,086,000	51.51
日	本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,039,400	3.80
日	本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	974,000	3.56
J.P.	MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	949,200	3.47
BNP	PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG / JASDEC/ABERDEEN GLOBAL CLIENT ASSETS	855,700	3.12
SSBTC	CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	732,500	2.67
STATE	STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	680,201	2.48
株 式 会 社	沖 縄 銀 行	472,000	1.72
沖 縄 電 力 株 式 会 社		472,000	1.72
琉 球 放 送 株 式 会 社		472,000	1.72
オ リ オ ン ビ ー ル 株 式 会 社		472,000	1.72

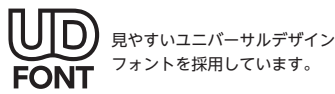


株主メモ	
事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日における最終の株主名簿に記録された株主又は登録株式質権者にお支払いいたします。
中間配当金受領株主確定日	取締役会の決議により中間配当を実施する場合、毎年9月30日における最終の株主名簿に記録された株主又は登録株式質権者にお支払いいたします。
公 告 の 方 法	当社公告につきましては、下記ホームページに掲載いたします。 https://www.au.com/okinawa_cellular/ ※ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) https://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場

お知らせ
(1) 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
(2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）の連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
(3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ
〒900-8540 沖縄県那覇市松山1丁目2番1号
沖縄セルラー電話株式会社 総務部
098-869-1001（代表）
https://www.au.com/okinawa_cellular/



第28期 中間株主通信

（2018年4月1日から2018年9月30日まで）

証券コード：9436 沖縄セルラー電話株式会社



代表取締役社長

湯浅 英雄

■株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

まず初めに、沖縄を直撃しました台風24号・25号の影響により、auひかりちゅらをご利用できない状況が発生したことを深くお詫び申し上げます。

当社が属する情報通信市場は、携帯電話事業者が提供するサービスなどの同質化や、MVNO各社による格安SIMサービスなどの普及が進み、通信事業者は新たな収益の確保に向け、非通信事業へサービスを拡大するなど、転換期を迎えております。

その様な事業環境の中、当社は順調に顧客基盤が拡大している通信事業を核として、今後本格化する第5世代移動通信システム(5G)・IoT・人工知能(AI)など、新たな領域における収益の確保に向けて取り組んでおります。

今後もグループの総力を結集し、株主および投資家の皆さまにとって魅力ある企業となるよう邁進してまいりますので、何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■当中間期の当社事業概況について

当中間期決算は、営業収益が前年同期比**5.1%増の326億43百万円**、営業利益が**10.5%増の71億69百万円**となり、増収増益となりました。

主力の通信事業におきましては、**モバイル総契約数**が前年同期比**4.8%増の69万6,000契約**(2018年9月末)、**FTTH累計回線数**が**10.8%増の91,300回線**(同)となり、業績予想達成に向け順調に推移しております。

また6月には、世界初となる「**5G**」を活用した自由視点映像のリアルタイム配信実証実験を沖縄セルラースタジアムで開催されたプロ野球公式戦で実施するなど、次世代通信技術にも積極的に取り組みました。

非通信事業におきましては、南大東村へ納品しましたIoTを活用した「**野菜プラント**」が本格稼働いたしました。コンテナ型のプラントで、天候に左右されず毎日安定的にレタスなどの野菜を出荷することが可能となり、台風時に野菜が不足する離島ならではの課題解決の一助となることができ大変嬉しく思っております。さらに、ICTを活用した安全・安心のイチゴ「**美ら島ベリー**」の出荷も開始いたしました。大宜味村の企業支援賃貸工場を活用した工場で、人員も地元で採用することにより雇用へも貢献でき、当社のキャッチフレーズである「**地元に全力!**」を体現した事業を立ち上げることができました。

2019年3月期通期業績予想

営業収益	65,500	百万円
	進捗率 49.8%	
営業利益	12,500	百万円
	進捗率 57.4%	
経常利益	12,550	百万円
	進捗率 57.6%	
設備投資	6,800	百万円
	進捗率 45.0%	

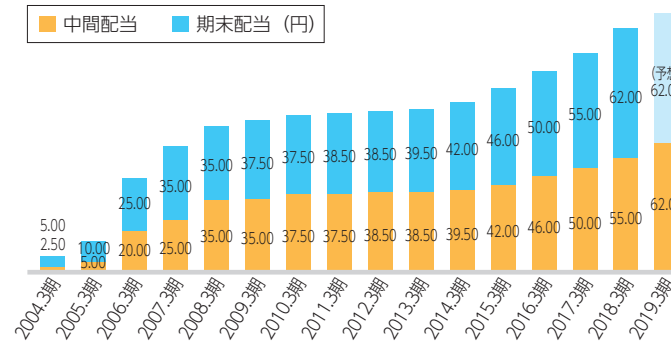
■株主還元について

当社は株主の皆さまへの利益還元を経営上の重要課題と位置づけております。

今期の1株当たり配当金は**124円(前期比7円増)**で**18期連続の増配**を予想しており、中間配当においては**前期比7円増の62円**の配当を実施いたしました。

今後も成長の果実を株主の皆さまへ積極的に還元する姿勢に変わりはなく、増配の継続を目指してまいります。

■1株当たり配当金の推移



当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題の一つと認識しており、今後の事業展開に備えるための内部留保や財務体質の強化を勘案しつつ、安定配当を継続的にを行うことを基本方針としております。

(注) 1. 2004年11月、2005年9月に株式2分割を実施(配当据え置き)しております。
2. 2012年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割しております。

■中長期の事業方針、戦略、見通しについて

沖縄は本土と異なり2030年まで人口増加が予測されており、モバイル市場は引き続き拡大する見通しです。また、FTTH回線の普及率も47.7%(2018年6月時点)と全国平均と比べ6ポイントほど低く、モバイル・FTTHともに伸びしろがある有望な市場となっております。格安スマホも台頭してきましたが、お客さま満足度の向上やauブランドの品質・信頼性により差別化を図り、顧客基盤の拡大に努めてまいります。

KDDIグループは「通信とライフデザインの融合」を戦略に掲げ、通信を軸に金融や電力など通信以外へ事業領域を拡大しております。当社も新規事業に取り組んでおりますが、まずは地元企業と協働して地域の課題解決のためのサービスを開発することを最優先にしたいと考えております。沖縄の経済振興を目的にKDDIと地元有力企業が共同出資して設立された企業として、長らくご支援いただいた地元企業の皆さまと競合するのではなく、協働して沖縄のお役にたてるサービスを作り上げてまいります。

業績についての詳細はこちらをご覧ください

➡ https://www.au.com/okinawa_cellular/ir/finance/highlight/

沖縄セルラー電話株式会社と沖縄セルラーアグリ&マルシェ株式会社は、大宜味ファーム（大宜味村企業支援賃貸工場内）で2017年12月から県内初のICTを活用した完全密閉型イチゴ（美ら島ベリー）栽培を開始し、2018年6月に出荷を開始いたしました。美ら島ベリーは一日に約3,000粒を収穫することができ、新鮮なイチゴを県民・観光客の皆さまへお届けいたします。

イチゴ（美ら島ベリー）栽培概要

イチゴブランド名称

ちゅらしまべりー
美ら島ベリー

施設名称

沖縄セルラーアグリ&マルシェ
大宜味ファーム

所在地

大宜味村字塩屋

大宜味ファーム床面積

1,176㎡（約355坪）

大宜味ファーム竣工

2017年11月

栽培株数

約20,000株

栽培方式

多段式（5段）水耕栽培

日産

約3,000粒

工場内人数

6名
（本事業にかかる人員は
すべて地元雇用を前提としています）

沖縄セルラーは、2013年12月より植物工場の稼働を開始しました。25坪の実証工場からスタートし、自ら栽培・販売を行ってきました。2015年12月に第2工場（50坪）の増設を行い、現在2つの工場で日産約1,000株のレタス系の葉野菜やパジルを栽培・出荷しています。



イチゴ栽培は、収量に差が出やすく熟練の栽培ノウハウが必要であることや、野菜類、果実類の中で農薬回数が多いことへの課題を、沖縄セルラーの植物工場で培ったICTのノウハウを活用し解決しています。

美ら島ベリー

「わしたショップ国際通り店」にて

販売開始

商品概要

商品名：美ら島ベリー
内容量：1パック 4粒入り
取扱店：わしたショップ国際通り店
販売開始：2018年8月9日（木）より

美ら島ベリーは、これまで県内大手菓子店にケーキ加工用として出荷していましたが、今回初めて生食用として「わしたショップ国際通り店」で取扱いを開始しました。
一日に多くの観光客が行き交う国際通りで沖縄産イチゴを販売することで、沖縄産イチゴの認知度向上および海外への販路拡大を目指しています。

2018年10月3日より「わしたショップ那覇空港店」で美ら島ベリーの販売を開始しております。

連結財務ハイライトサマリー

営業収益

32,643 百万円

前年同期比
5.1%増



営業利益

7,169 百万円

前年同期比
10.5%増



経常利益

7,223 百万円

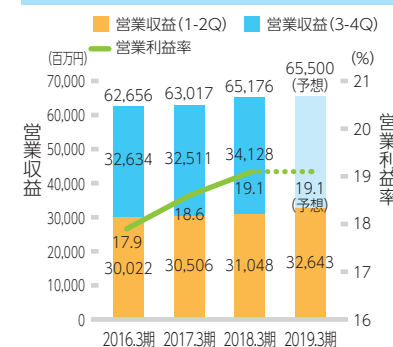
前年同期比
10.9%増



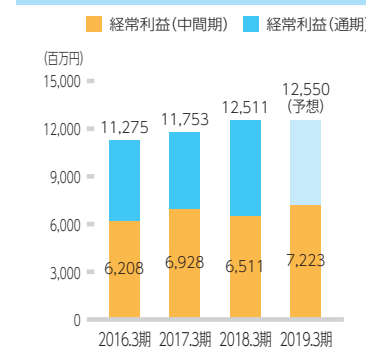
1株当たり中間配当金

62.00 円

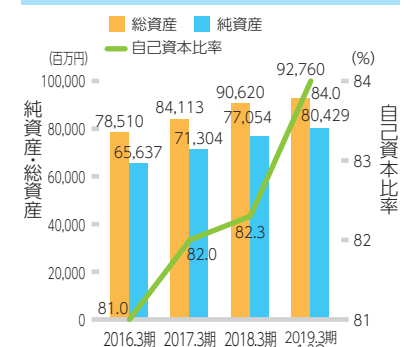
■営業収益・営業利益率



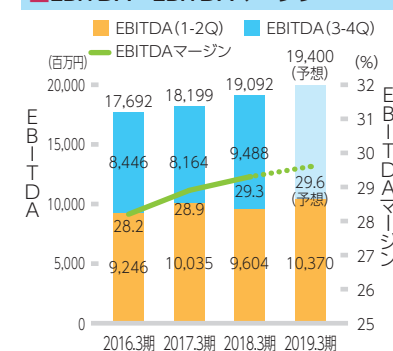
■経常利益



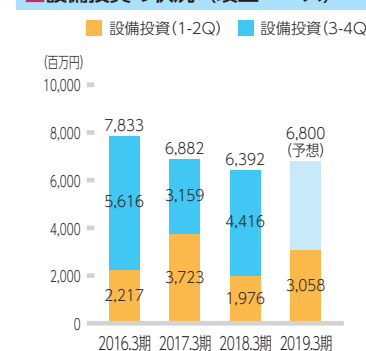
■総資産/純資産/自己資本比率



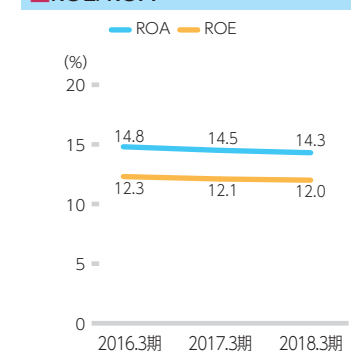
■EBITDA・EBITDAマージン



■設備投資の状況（竣工ベース）



■ROE/ROA



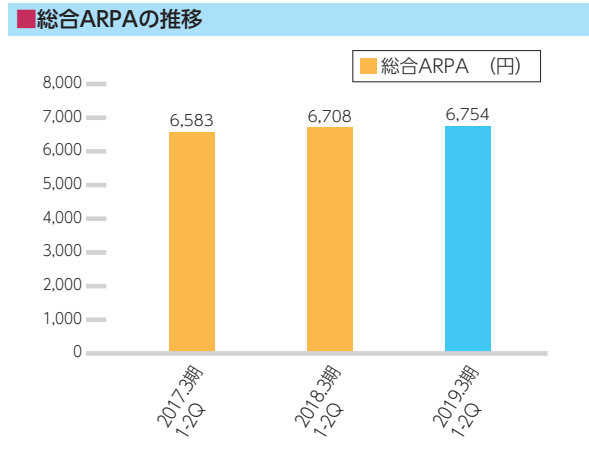
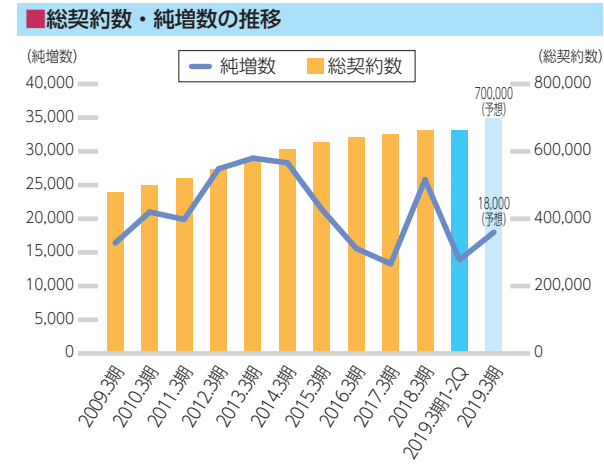
モバイルサービス

当中間期においては、auのラインナップとサービスの充実、ネットワーク品質の向上など、お客さま重視のサービスに取り組んだ結果、前年同期と比較して総契約件数が5,700契約増加（70.7％増）し、当中間期末では696,000契約となりました。

【サービスデータの状況】

	前年同期比較			
	2018.3期 1-2Q実績 (A)	2019.3期 1-2Q実績 (B)	増減 (C=B-A)	増減率 (C/A)
純増数	8,200	13,900	+5,700	+70.7%
総契約数	664,400	696,000	+31,600	+4.8%
携帯電話総販売数 (台)	112,600	113,800	+1,200	+1.1%
総合ARPA*	(円) 6,708	6,754	+46	+0.7%
内au通信ARPA	6,386	6,390	+4	+0.1%
内付加価値ARPA	322	364	+42	+13.0%

* MVNOおよびプリペイドを除く



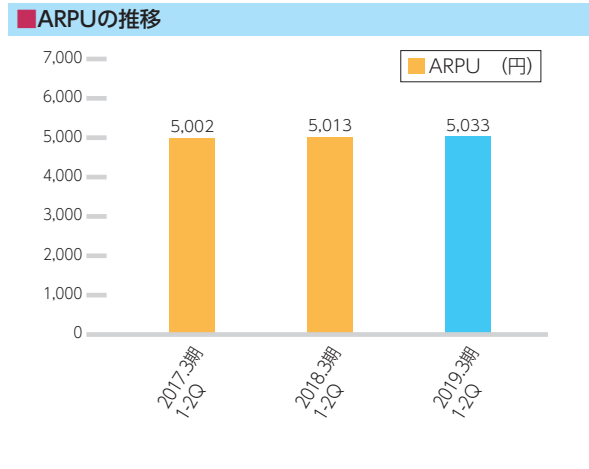
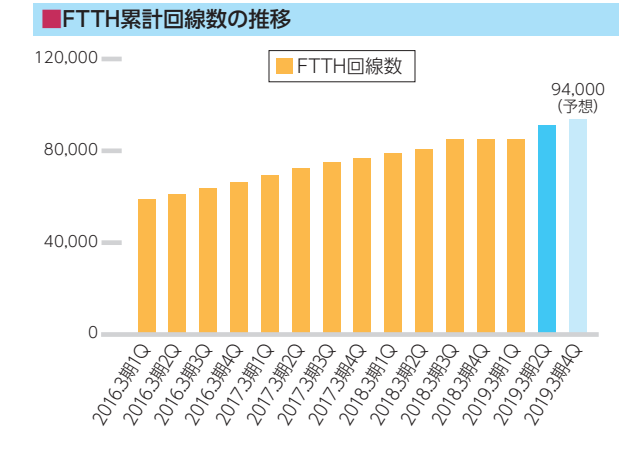
(注) 1. 純増数、総契約数及び携帯電話総販売数には、データ専用端末、タブレット、通信モジュールサービスの契約数も含まれております。
2. 純増数、総契約数及び携帯電話総販売数は百契約未満を四捨五入しており、増減は端数処理後の数値を記載しております。
3. ARPA (Average Revenue Per Account)：契約者1人当たりの売上高。MVNOおよびプリペイドは除く。
au通信ARPA：モバイル通信料収入 ÷ au契約者数
付加価値ARPA：付加価値ARPA収入（「決済手数料収入 + 自社サービス他収入など」）÷ au契約者数

FTTHサービス

当中間期も、沖縄3M戦略の着実な進展により、前年同期と比較して回線数が500契約増加（12.8％増）し、当中間期末で91,300回線となりました。2010年3月のサービス開始より現在に至るまで契約回線数は順調に伸びています。

【サービスデータの状況】

	前年同期比較			
	2018.3期 1-2Q実績 (A)	2019.3期 1-2Q実績 (B)	増減 (C=B-A)	増減率 (C/A)
純増回線数	4,200	4,700	+500	+12.8%
累計回線数	82,300	91,300	+9,000	+10.8%
ARPU	(円) 5,013	5,033	+20	+0.4%



(注) 1. 純増回線数及び累計回線数は、百回線未満を四捨五入して表示しております。
2. 純増回線数と累計回線数は、auひかりちゅら、auひかりちゅらビジネス及びひかりゆいまーるを記載しております。
3. 増減については、端数処理後の数値を記載しております。
4. ARPUについては、auひかりちゅらのARPUを記載しております。
5. ARPU (Average Revenue Per Unit)：1契約当たりの月間平均収入。